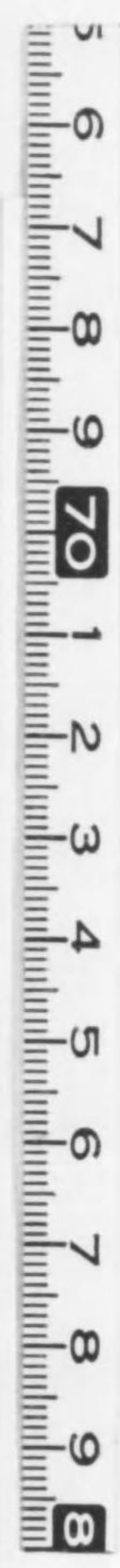


アメリカ社会事業資料第三輯

特277
389

特277-389
76W10328

×
複写



始





アメリカ社会事業資料 第三輯

アメリカ社会事業の成立

法人 中央社会事業協會

社会事業研究所

序言

本冊子は一つの科學的専門事業として發達したアメリカ社會事業の成立の沿革を概説したものであつて、アメリカ社會事業の現況を研究紹介する価値として、本研究所囑託小沢一が執筆

したものである

昭和二十二年二月



發行所寄贈本

財団法人 中央社會事業協會
社會事業研究所



アメリカ社会事業の成立 目次

叙 説 一
 一 アメリカ社会事業の成立の研究に用いた文献 三
 二 アメリカ社会事業の研究についての用意 四
 三 問題と機能としての社会事業の発達 一〇
 四 社会事業の歴史的形式と社会事業形式 一〇
 五 社会事業の実際問題 一四
 六 機能的社会事業の仕事 三三
 七 社会事業の技術的訓練 三三
 八 「訓練された社会事業家」とは何か 三六
 九 技術と技術的訓練の過程 三六
 一〇 学校の技術的訓練 三七

76W10328


アメリカ社会事業の成立

叙 説

日本の民主的建設に当って今日迄発達の後れをわし社会事業の推進について急速に研究すべき問題が多々ある。ガーツの科学的専門事業となつたアメリカの社会事業が如何なる過程を経て成立したかを明かにし、次でその現況を研究することの急務だと思ふ。

我国の社会事業は一個の専門事業としての科学的基础と技術と機構が発達せず、今迄常識的社會事業の域に止つてゐる。

アメリカの専門社会事業の成立は科学的に発達した社会事業の技術と組織の全般に亘つた問題であつて、それを考察と理解には社会事業の各種の経緯と基礎科学の知識が必要である。本文はアメリカの社会事業の成立について概観的叙述を試み、我国の専門社会事業の健全な問題の改良に資し度いと思ふ。

研究を進める便宜上、社会事業とは何ういふものかについて社会事業の實質的規定と範囲について述べ、後にアメリカ社会事業研究について、の用意を述べることとする。

一 社会事業の實質的規定
 社会事業は複雑な組織と技術活動から成つておるからその研究を進めると當つて先づその實質と範囲を規定してかゝることが必要である。社会事業と稱余の社会公天事業や、一般社会行政、社会政策等との本質的區別を明確にするやうな社会事業の本質規定を、学同

的に定まることは困難であつて今日では定説が得がたい。それ故社会事業を一つの経験的
事実としてその範圍を事実的に限定しようとする試みが行はれて来た。

第一回國際社会事業會議（一九二八年）の第一回全體報告演説課題の研究中に「社会事業」
といふ言葉の内容が次の如く述べてある。

社会事業といふ名はケース・ワーク・グループ・アクトビティ、立法及行政に依る共
同社会活動 *Community activity* 並に社会調査の方法に依つて貧困に起因する病状を
救助し、個人及家族を正常な生活状態に恢復し、社会悪を防止し且つ共同社会の社会状態
並に生活状態を改善する為の努力を包含する。

従つて社会事業は厚く救護、保護及び社会的諸活動のみならず、ある実地保健事業及教
育を包含する。（*Report of First Inter National Conference of Social
Work, page 170*）

ケース・ワークとは貧困者、病者、不良少年等の個人や家族の社会的事件を適切有効に
取扱ふ仕事であつて、各種の相談事業も保健師の仕事セラー、ワークである。これ等の
ケース・ワークはそれ等の技術的経験と理論、心理学、教育学社会的看護、医療等が必
要であつて、不良少年には精神薄弱者と精神病学的欠陥があるものが多いため精神病学的
知識と取扱の経験が重要である。
次にグループ・ワークとはセツトルメント、コミュニティ・センター、少年少女倶楽部

その他、娯楽及教育団体それぞれをその内の人々の共同によつて発達させて行く仕事であ
る。等々コミュニティ・オルガニゼーションとは社会事業活動をコミュニティ（共
同社会）の共同活動として組織する仕事である。

(二) アメリカ社会事業成立の叙述に用いた文献
第一、本文でアメリカの専門社会事業の成立を觀察するに用いた所依文献について
説明して置こう。筆者はこの問題を述べたについて「教育社会事業学校のポーター、R. リ
ーの著「問題と機能としての社会事業」 Porter R. Lee, *social work as Cause
and Functions* (1927) を選んだ。

リー氏は多年記者社会事業学校で社会事業の講義を担当し、社会的保護技術の組織的活
動として発達したアメリカの専門社会事業の成立、発達を研究、指導して權威ある著書と
論文とを多く空してゐる。

Social work in Cause and Functions は既に二十年前の著書ではあるがアメリ
カの専門社会事業の成立を種々の方面から叙述した基本的文献として今日も依然として変
らぬ正しい所論である。即ちこの一巻は米国内科学的社会事業の成立を述べた代表的著
書だと言つてもよいと思ふ。よつて取り敢へずその中から総論的台論文二篇を紹介してアメ
リカの専門社会事業の発達の研究資料としやうと思ふ。
右の二篇の著書中の第一にその書名をなつてゐる巻頭論文の要旨を紹介する。(三)

文は一九二九年のアメリカ全国社会事業協会のカンファレンスとして演説であつた。文章が修辭的
で難解なところがあつたが、要旨を簡潔に説明し、便宜の爲に附した。その文
中でリバー、アメリカ社会事業の歴史的發展について、示唆に富んだ敘述を展開した。
次に紹介するカトリックの同じ著書中、第二の文章である「社会事業の技術的訓練」の
一文である。

右の二つの文章によつて、アメリカ社会事業の成立が窺はれる。

(三) アメリカ社会事業の研究について、カトリック

医師や法律家の仕事は初め経験によつて得た技術から出発して次第に経験を合理化して
一つの科学的専門事業に発達したのと同時に、アメリカ社会事業は技術的経験から出発
して科学的に発達した専門社会事業 Professional Social Work であること強調されて
ゐる。

社会事業のうちに法律や各種の施設や機関の外形等は平面的に記述出来るが、解り易
い。けれども社会事業の目的、保護の技術と全般の機構の活動そのものは社会事業の基礎
学、即ち社会学、生物学、心理学、社会統計、社会哲学等の基礎知識がなくては解らない。
社会学は人間相互の關係を対象とする社会事業に關して研究する。そして社会事業の第一
の事業である人間關係即ち社会集団と個人の間の相互作用である社会過程と第三

には社会の慣行、制度、思想等の社会構造即ち社会現象が如何なるものかを明かにする科
学である。社会制度の一つとして出来た社会事業は社会が社会的富を社会共同の責任と
認めて社会の存在發展のために自己を犠牲する活動として出来たものである。社会政策は
社会事業と同様に社会の自己規制活動である。斯ういう社会学の知識をその他、社会科学
によつて社会事業が成立した社会的現象が明確にされるのである。
また生物学は生物の構造と進歩と衛生学、科学によつて社会事業の一つの重要な科学的
基礎となつた。社会調査も一応の調査計画は容易に立つが、眞摯の又は成何学の計算以上の
精細な調査と集計の点には社会学的方法と高算な社会統計の技術に精通
せなければ不可能である。

更に社会学は人間の社会の目的と技術及び体験の關係、社会事業と社会的諸活動との關
係等を全体として観ることを考ふる思想背景を与へる學問である。マツキーヴァーは社会
事業の哲學的背景を詳述し、「社会事業に対する哲學の貢獻」としてまた社会事業は社会共同
の自己規制活動であつてコミュニティの組織活動であることを詳論してゐる（コミュニティ
コンテナー）

社会事業の理解は一つは前記の通り根本的の重要不可欠の要件は社会事業の各種の實
際経験である。社会事業は本来社会的保護の技術が本質であつて、技術は又体験によつ
て得られるものであつた。だから社会事業の技術は機構も体験に基づかばその本質は理解

出来ないのである。

即ち社会事業の研究、理解に基礎と基礎学科が必要である。これは等々アメリカ社会事業家の資格として強く要求されてゐる。社会事業を歴史的、動的に観る場合には是等々用意が必要である。

アメリカの科学的社会事業は日本の今迄の常軌的社會事業の考へては本質的に理解出来ない。今后日本の社会事業でも少くも社会事業の専門家に指導的地位の人々の技術的、科学的の専門社会事業の理解を充分に有たねばならない。これからは日本社会事業は英大五人質の専横者生活保護の適切有効な運営とさう初歩の調査を始めとして戦後激増した不良少年の保護及び予防、戦時中から荒廃し切つた一般児童の福祉とその他激増しつつある各種の生活困窮者の保護等々爲に社会事業は眞に国家的規模に拡大され且つ科学的に運営されるべきであらうと云つて、従来常識的社會事業ではもつ有効、健全な発達に期せられたいのである。

そこで第一にアメリカの専門社会事業成立の沿革を知ることが必要であつて、前にも言つた如くにリリーの二つの講演がよく説いてゐる。講演の第一は社会事業の理念と科学的基礎の発達及科学的方法応用の限界を、第二は社会事業技術の発達を多年の体験に基いてよく叙述してゐる。この二つの演説でアメリカ社会事業の成立過程が充分に窺われる。アメリカの社会事業は是等の慈善、博愛事業、社会改良といふやうな色々な名目で呼

ぶれた事業であるが、近代の社会経済的変革に伴つて従前の篤志的、任意的な仕事と違つて社会事業は社会が自己の存立、発展の必要上行ふ社会共同の活動となつた。

リリーの講演の理解は弁ずる爲にその要旨を説明すると次の如くである。

近代の人道主義、社会科学、生物学、医学、心理学等が本となつて社会事業の理念が形成され、技術と科学的基礎と権威が発達して来たのである。この近代的社会事業は過去の慈善、博愛、社会改良時代の活動のやうに社会的害悪の問題、Sins and vices 等を高く叫ぶだけでなく救済、保護の結果を組織して次第に社会事業の進化した機構を構成し社会的保護、福利の社会機能 *social functions* とするところが大切である。社会機能とは社会組織がその目的に向つて働く作用である。それは社会事業を共同社会の機能とすることである。即ち問題と権威としての社会事業と云ふのが社会事業の理念であることとを説いてゐる。これと併せて社会事業の技術の発達を説いて社会事業の成立を明かにしたのである。

これ等の所論はアメリカの専門社会事業の成立の叙述として深い興味を以て読むことが出来ると思ふ。何故なれば社会事業の目的とそれを実行する技術と可能性とを全体として理解し、社会的諸活動のうちに於ける社会事業の位置が明瞭になること、寧ろ人間福祉の爲に科学的社會事業の重要性が眞に解ること、社会事業の個々の問題以上に社会事業家に取つて大切であるからである。さういふ社会事業の経験と研究の蓄積が社会事業家の社会奉仕の原動力である。

... 行... 社会事業... 共同社会が担...
... 社会事業の聯絡機關によつて隣保集團から始つて地域共同體の活動となつたことが
... 重要の点である。であるから社会事業が同じく地域に基礎をもつた自治、行政、労働運動等と
... 緊密に協力して働くことが出来るのである。

ところが日本では社会事業が地域共同活動と成るこれが甚しく後れてゐる。それは地域
共同活動の基礎であるセトルメントも近隣の人々が集つて互かに親しく娯樂と教育活動
を共同的に行なつてセトルメント・ワークのほんとの発達が見られず、保育、図書館、授産
寫をたゞ一つ場所をやつてゐるに過ぎない。また社会事業は地域的の共同活動と成るには
その方向に社会事業聯絡機關が働かざるを得ないが、社会事業を同じ地域を共同化した
社会事業へ地域の人々や他の機關を卷かせることがまだ出来てゐない。さういふことは
我國には今迄社会事業を共同社会活動とする実物探本が出来てゐないから社会事業の共同
社会組織活動（コンミニエーター・オルガニゼーション）といふアメリカ社会事業の根本特
質が一般に名目も實際も理解され難いのだと思ふ。

アメリカ社会事業年鑑 *American Social Work Year-Book*
一九四五年版の「一つの専門としての社会事業」の冒頭にはアメリカ社会事業の起
源を次の如く述べてゐるが、それはリリー・所説と一致してゐる。

一つの専門としての社会事業は人類の特殊の要求に應じて発達した。この事業の先行活
動は以前「慈善」「博愛事業」「貧民救済」や「社会改良」のやうな名称に包括され左稱活動
のうちに見られるのであるが、社会事業の最も急速な発展は一世絶の過去四十年の間に
に起つた。社会事業を種々の仕方で定義しようとしないが、これは屢々行はれたが、それ等
の企は多くは種々の専門的形態への成長の段階を反映するものである。社会事業の愛國論
ethology 種々の目的、社会事業の名称の起源と一層最近には方法論 *methodology* の種々
の時期に力説されてゐる。

如何なる専門、むか實際の理論に元だつたものであつて、貧困、不食性及社会的混乱の種
々の問題が早い時期に邦、教会及個人家の注意を引いた。人道主義と生物学及社会
科学の勃興の結果が結合したものが貧困不食性と諸欠陥の原因に大きい関心をもちつた。治
療から予防への転換が強調された。一九一〇年には社会事業は家族の破壊、児童の放任し
保護、身体的及精神的疾患の影響を減少させることと表された。
尚ほアメリカ社会事業の成立の意義は社会事業発達の現況に對照して述べれば一層明かに
なる。

アメリカ社会事業の歴史と發展と進歩は非常に広汎である。それである現況の研究につ
いては研究の順序を考へる必要がある。

アメリカの社会事業の叙述について最も基本的な事項は社会事業の技術的方法とそれに基
づいて構成された社会事業の機構、社会調査と社会統計、社会事業家教育、社会事業機関
の管理。その他社会事業個々の仕事としての家族社会事業、医療社会事業、精神病的社会
事業、公的扶助等である。また社会福祉の積極的方面として公天福祉、^(公衆保健)母性及児童の保健、^(福利)福祉と社会事業の事項がある。これ等の事項を叙述すればアメリカ社会事業の大本が明か
になる。社会事業成立の考案は、この社会事業の現況を研究するの前提としてあり。
この社会事業のアメリカ社会事業の現況を研究することによつて日本の社会事業が
いふに救はれたる支那と欠陥と今後進むべき目標が明らかになる。我国社会事業のそのいふ
問題についてはアメリカ社会事業の研究を逐次発表するのと相俟つて発表して行く度いふ
思ふ。

以上で社会事業研究の同志を大畧述べ終つた。このいふは其の紹介を始めることにな
る。

第一、問題と機能としての社会事業の発達

一、社会事業の歴史的形式と社会事業形式

氏は述ふ。社会事業の発達には慈善事業に発した歴史的形式と近代的社会事業と成
つた社会事業形式との両面を見れば行らる。即ち最初には慈善の觀念によつて貧困とそれ

に附随する社会意の諸問題に對して熱情家の社会意問題の運動が社会事業の歴史的形式
である。と云ふのは問題の根本的處理の爲に之、兩々の対応の処置がけでなく継続的の組
織に依つて行くことが必要である。それだから近代的社会思想の発達に伴つて社会共同福
利の觀念によつて共同社会の一機構として社会事業を組織化する社会機能が究進した。こ
う社会機能が社会事業の近代的形式である。即ち社会事業の問題型、事業と機能型の干渉
とに表露した。けれどもこの社会事業の両面を分離したものはなく近代的形式の社会
事業が同時の問題としての本来の機能を有つてゐると説いて問題と機能の両面として発達
した社会事業の発展と機能をいふのである。

第二、社会の組織と社会事業の発展と社会改良の発展とを大にして社会的意の除去と
その積極的の社会福祉を強調したが、ある意の除去が一層完成されるか、新しい利益が
現定されるかこれに關する關心が最初には減少する。問題に對する活動の成果を永続させ
るにはその努力を整理と組織することが必要である。それには種々の動因と熟練と機構
が必要である。その結果として「社会事業は歴史的形式と近代的社会事業形式の両面が共
に問題としてその所産を有つてゐる上、最近何十年かに社会事業はその問題としての特質の
他によく組織されたコンミニティー生活の機能と異なる特質を加へた」(Riggs)即ち社会
的意の問題の利害関係と責任をコンミニティー生活の一機構として引受けるよき組織化さ
れた行政機構に移すやうになつたと述べてゐる。(Riggs)

コンミニユニター活動一共同生活体の活動なるものがアメリカ社会事業の基本的性質である。コンミニユニターは社会集団の一型態であるが、その他社会集団がとくに性格あるものを要約して述べ置く必要がある。

人間の社会生活は自然に社会集団を形成するものであつて社会集団は社会生活が行はれる舞台である。

ところがそのいふ社会集団が形成されるのは一定の団結関係に基づいてあつて、団結関係の如何によつて異つた社会集団が構成される。

人間団結の第一の原理は人々の交通による相互接触の關係であつてこの団結關係によつて成立する集団が種々の集合、集會と共同生活体へコンミニユニターである。コンミニユニターは文化生活圏であつてその範圍が隣保集団、町村、都市、地方、國から更に国外迄に際限なく広がる。第二の社会集団の原理は人間相互の愛情や同情の感情であつて、この感情的融和の原理によつて成立つ団結状態をランニースは「ゲマインシャフト」と名づけ、その団結には家族、民族その他の種族団結、社会階級と職業団体、宗教団体、學同、並稱改革者の団結がある。

第三の集団原理は何かの利益觀念を目的とする意志的協同であつてこの原理による社会集団は経済界の営利団体、スポーツ、趣味、娯樂等の団体、學術団体等と社会事業その他

の公共的社会的利益を目的とする団体があつた。

現代社会に於て人間の最も包括的な相互的接觸が見られる社会集団は共同生活体であつて、他の凡そこの団結と社会事業は共同生活体の範圍内に存在展開する。マツヤが「共同生活体は基礎集団であつて他の凡そこの団結と社会事業は共同生活体の範圍内に存在展開する。マツヤが「共同生活体は基礎集団であつて他の凡そこの団結と社会事業は共同生活体の範圍内に存在展開する。」といふのは、共同生活体は基礎集団であつて他の凡そこの団結と社会事業は共同生活体の範圍内に存在展開する。

問題に対する保護が組織化されて機能となる。そのヤウに社会的害悪の問題の処理の社会機能の生じを理由にどんな問題でもそれに対する一つの保護が実施され、その保護が組織化されること一つの機能となるのである。例へば一つの問題として始つた寡婦年金や労働者災害補償の運動が後にアメリカ各州で組織化されたコンミニユニター生活の一つの任務となつた。またセツワルメント運動はそれを代表する活動が運動に性格を帯へておるがこの運動はコンミニユニター生活の一つの機能として發展した。同様に児童労働の撤廃もアメリカ各州で展開する社会機能になつた。

問題と機能との特質——問題と機能とは共に人間といふ動物によつて行はれるから問題と機能が同じ人間の諸特性を利用する。併し問題と機能とは力の入れどころが異つておるし、また要求するところがちがふ。斯う社会改良家風の問題信奉者にとつては恐らく「熟慮」といふものが最も自立つた特徴であるが、機能を強調する近代的社会事業家連は「智見」が最も大切である。問題の處には派手な行動や力な組織と合言葉が、機能の處には計画と手引書、問題の處には犠牲と燃えさやうな精神、機能の處には誠實、標準と方法、問題の處には陣

答を整へ多人数、技能の熟練には有能な職員が大切である。(一四)

さて社会事業の大切な問題は社会的苦悶問題に對して人々に熱情を鼓舞する社会事業本
来の能力を個性に在りて社会事業をよく組織化されたコンミニティー生活の一つの技能
として発展させることである。

問題の社会事業は技能の社会事業に於つた社会事業の变化が多くの人々にこの事業に
ついての理解力を生ぜしめよ。

(二) 社会事業の実際問題

以上述べた問題と技能としての社会事業の発展といふ社会事業理念から脱して社会事業
の実際問題がいろいろ挙げられてゐる

筆者註

以下リー氏が社会事業の実際問題について述べておられる趣旨の理解と示すため、此處
でも予論自身を要約して述べて置かう。

リーは最初に技能としての社会事業の程度をいろいろ挙げ、次で社会事業の予防的活
動と実物宣伝、社会事業の効果測定、社会調査と事業実施の計画等、科学的方法の採用
によつて社会事業の科学的基礎が発達して来たことを説いておられる。また社会事業の經費につい
てはその負担は都市町村、外華之れをれの共同体の義務であるとして社会事業が共同体を基礎として
成ることを説いておられる。

そうして最後に個能的社会事業の任務を説いて社会事業の問題の正確な測定、仕事
心要の諸条件、正確な評価、結果についての不合理の期待によつて組織の負担を過度にし
ない事等の科学的合理性を挙げられている。更に社会事業職員は科学的基礎と訓練された正確
な実行力が必要とする。ところが問題の指導者としての性格と技能の執行者として、性質
を併せて有する人は稀有である。位置の上下に拘らず問題のサーヴァントの精神で技能の
責任に於ける社会事業家の能力こそ大なる社会奉仕の根柢である。また社会事業家の文化
的役割は社会的苦悶問題が鼓舞した理念に組織的を生命を与へて具体化する文化的努力で
あると説いておられる。

以下リー、本文に帰り、社会事業の実際問題についての敘述を進めよう行かう。

目的の達成を恒久化する組織——社会事業が大きな貢献の出来る恒久的性を有つた為には技
能としての発展が欠くべからざるものであるが問題の目的が一度到達された結果を恒久的
にするには組織と教育の結合によつてのみ出来る。其の結果を有初にするには努力を長
期間継続せねばならぬ。ところが問題に対する努力が感激的であつたに比べて結果を
成就する努力は常創的、興味のないものであつてまた了拂り処は機械的な事業家と専門家
である。この組織化と技術的努力の時期は問題の特徵であつた熱情と失つたエマツに似へる
か人間は福祉に同心を有つ人々の質として、熱情だけを挽弱であり、また動機する。
問題と技能の動向の差異——尚ほ、技能から技能への発展の最も重要変化は活動の動向が及ぶた
ことである。社会的苦悶除去の問題に花担する人々の諸動機は物々しさ人々を惹きつける。

(一五)

要回が極めて多く錯綜してゐる。学校改良、少年裁判所、職業制度、職業訓練、精神病学的検査、不良少年の将来、青年の人格陶冶がこれ等の目的に對して貢獻した。犯罪は依然として社会に絶えぬ。

予防目的の完全な到達は速い——貧困の撲滅、犯罪の防止、予防可能の疾病の除去、労働者の工場災害の減少等は只て目的の完全な達成には片道が速い。それ等が到達される前に吾々は機械的を経験と実行の長い後援を計画を遠くせねばならぬ。尚且つは治療を講みつゝあるそれそれの社会的悪態に對して確實な計画が今迄に提供されたといふことは未だ出来ぬ。また吾々は社会事業の目的に對して實際可能である以上に速く進み且つ経費の少い進歩の率を理さうと見せかり。社会事業の能力を偽つてはならぬ。

実物宣伝の利用増大——予防の發端と同様に社会事業の多年の方法である実物宣伝、即ち公衆衛生、児童保護等の実績によつて社会事業を説明し宣伝すること、が近年一層活現になつて来た。実物宣伝の原理はコムミニティーに對して新しいパーヴイス（華社）を賣はせるそのパーヴイスがゴムミニユニティーの社会的機能の一都として設定されるやうに、そのパーヴイスの永久的の価値が明かになる迄は屢々試験的の管理と、財的主唱の下に実物宣伝が行はれる。また実物宣伝は特殊ノパーヴイスを行政機関が担当するやうになる迄の準備として長い同私的松明が行つた。

実物説明の価値は問題でない、実物宣伝は適当に用いらればその他の何れの方法に依

るよりも共同社会の要求に對して人々の注意を早く喚起する。それは試験の進捗と過誤及誤つた組織、方法によつて多くのコムミニユニティーが憂々する時間、経費及熱意の損失を救ふ。

実物説明の発展の終極は特殊ノパーヴイスがそれを必要とする凡その人々に行届く迄に於ることである。此際ノ仕事又は予防計画の価値が一度実物的に説明され、その価値の認識が漸次普及すれば又中の人々と共同社会全体がその利益を享受する迄は止つてはならぬ。実物説明は多くの共同福利問題の目的の完全な實現へ社会を近づけ得る一つの計画である。

但し実物説明の原則の實際的進展に對して問題となるのは適任の職員と財的資源の二つである。

社会事業の経費——幾何の社会福祉を吾々は今へ得たであらうか。その為の社会事業の経費は如何。この疑問に對して茲つゝの答がある。アメリカの名魁カ「社会事業全庫」の専門の募金者は是れ問題が正當で實效が適當と組織されておれば募金は限りなく増大すると吾々に語る。又吾々の中には金貨源が足りやうと定り、社会的富を除去するに必要の仕事である以上はそれを止むことは出来ぬ。個人が省費を切詰める必要があるか、または方法を手段を變更する為めに個人が新募集方法を工夫する必要があるかなどを考へると老へては来るものがある。

社会事業の起原は、この二つの異なる理論と實際と両方の両方を兼ねてゐる。國民は家族と同様に所得以上の消費をすれば不飽和な生活標準を切り下すればならぬ。併し國民の富の増加は増加とアメリカ人が社会福利の為に用ひ得る資金の総額の増加を基として判断する時には未だ斯ういふ目的の為に吾々の資金を用ひ盡すに付いておまい。斯ういふ吾々の援助の資金は僅か盡せぬ限り、極定して来たやうに思ふ。即ち吾々はより健全な生活促進する方策に資金を供給する責任はアメリカ人の政府に懸つてゐることを確信しなば、方策の計画に献身して来た。

社会事業の計画の問題は今日社会事業と形つて甚だ重大である。何故ならば、實物説明の計画によつて利益の得られる見込み人々へ是等計画を拡大するに必要を經費如何の問題と現在台人が直面したことがなかつたからである。それ等の計画により仕事のある予防注射のやうに比較的經費の少いものもある。併し他の仕事は性慾異常者の取扱ひのやうに驚くべき經費のかかりである。その中間に經費が大分異なる程度に異つた仕事と可能な潜在的利益が保身に、経済的保障に教育に、教養の機会に、いゝて限りなくある。

ところが如何に創造すべきか、判つてゐる社会共同の文化でもその利益を凡そ人々へへる經費の調達が現在出来ぬのであつて、それ如何にしたら出来やうか一面吾々は國民として充分な生産力を發揮しなかつたし、また今生産力の合理的な配分の工夫をしなかつた。社会事業の所求經費如何の問題、論議は共同社会全体の福利であり、また義務でもあつて、

その決定は、共同社会の資源と共同社会がそれの一部である全体社会に対する理想と影響の大小に依る。

社会福利のため、國の支分は他の部門の經費と同様に結局實際の力を空しく収入によつて決定されねばならぬ。社会事業に得られる金銭は最も有効な金銭調達方法によつて寄附者や立法府から得られる金銭に限られる。特受のコミニニテリに金銭を寄附し、または充分な予備の補助金に決定には諸種の事業が影響する。例へば、一ツの公債に對しても意見の不一致がある。社会事業機関の理事者と又、社会が社会事業の諸目的が最大限まで達成されるの必要を認めるやうに各々のに教育過程が必要である。社会事業の金庫のあり市でも社会事業資金の振替の責任を引受けた人々を経験し、それ等が所望金額に達しない場合には、社会事業の通過の適当な選択が必要である。それは、社会事業の分野の間接的になく、社会事業が寄附と充分な他の文化的分野の間接的も包含し、即ち社会的諸目的の爲にコミニニテリに經費の他、社会的機関の計画の相互の比較と共に公民教育、保健施設、図書館、警察及び消防隊との比較を必要とする。

備へ、並びこの選択を為すは、コミニニテリ・カーヴイスの機械的管理に任ずる人々への別々の要求がコミニニテリ全体を要求の足に照らし、決定されることを、コミニニテリが期すること、が合理的である。そこに指導に付いての莫の仕事がある。結果の決定といふ科学的な方法は問題に對して及ぶ。

能の存する一、の顯著な特徴である。結果の測定は社会事業家の一つの比較的否の標準
である。それが最近重要なる要求に大化した。

統計、ケース研究、ケース研究、記号図表、比率表、要保護性の要素等は凡そ社会事業
分野に於ける経験に全く妥当な測定方法である。それ等の経験の統計的利用はそれ等の正
しいことを知るに充分な結果を提供した。併し以前は社会事業の上では問題と技能の凡
ての測定といふことに容易に盡力しなかつた。

社会事業には産業上に於ける経費、流通及資金、やうな或は公衆衛生分野に於ける死亡率
及疾病発生、やうな特徴的障礙は少ない。それにも拘りて社会事業は結果の測定を困難す
ることが後述の如くである。

結果の測定、評価標準設定の困難——社会事業の結果の測定には業前、評価の標準が必
要である。ところがほとんど標準で社会事業を測定するに於ては、一つの団体、事業は
努力の結果の比率を條件とし、経済と効果とを条件として測定される。併し社会事業は人々
が満足してゐるものが認められる社会共同の文化の爲に行かば、必ずしも必ずしも或る種
業は測定出来ないものが多し。

経営を條件とし又は努力の結果の割合を條件として、その社会事業の比率を完全に定め
得るかどうか疑わしい。むしろ、その努力の正當化を爲し、能率を定めることは必
ずしも必要でないと思ふ。ヒトトルメント、仕事、ソートシヤル、ケース、ワーク、娯楽

公衆衛生の多くは概して言ふと斯ういふ仕事に利益の爲に、それ等の仕事を経営される
る社会をそのいふ仕事に必要なる人が選ぶこと以外にそれ等の仕事に利益の利便を
得ない。社会事業の結果を測定する可能性を強調し過ぎることが技能的に考へる社会事
業家を問題として、社会事業の大きき方便命に対して盲目にすることを反論しねばならぬ。

(三) 技能的社会事業の任務

技能的社会事業に対する責任——若くは技能的社会事業の任務を充分明確にして置くこ
とが必要である。技能的社会事業はそれの問題の正確な測定、それの仕事に必要なる便宜の正
確な評価と共に、それの支持者が結果の不合理な期待の爲に技能の負担を過重にし、技能
の作用を阻碍しないやうにすることである。社会事業の結果の諸條件に對する社会の期待
は大部分社会事業家が暗に持つものである。可能な結果の過大評価は問題の促進に兎がれ
ないがそれら技能の運行に取つて重大なハンデをキマツプロレナリ易い。

社会事業職員の問題——職員の問題は緊急である。近代的社会事業の技能的要求は古い
社会事業よりも、洞察力と指導力と更に科学的基礎と訓練された実行力を要する。近代的社
会事業家は前の人々に較べて実行の正確な要求に応じねばならぬ。細へどこそ、同じ
問題に明確な成功を示しつつある。併し斯ういふ社会事業家は数良の場合でも要求に応ず
る充分な人員がない。

技能的社会事業家のこの要求は利益は良い社会事業家はより多くの社会事業の必要を創造す

らく人々の集団を支配する能力よりも指導力に對するより高き資格である。過去及び現在の秀でた指導者は漸進の専断を執らなかりし。社会事業は著名な理論家が理想主義と執事の間に必然的矛盾を見ない男々の事業家が多数を占めては人妻に大なる奉仕を成就すること付寄るべきと断言せざると思ふ。

以上がリリー演説の要旨である。社会事業の問題は時代と共に新しいカウが次ぎ次ぎと現はれる。併し社会事業が同業と機能の両面として行はれるとリリーが述べた社会事業理念には水鏡性があつたと思ふ。何故ならば人間の社会組織の性質は本質的には変るものではないからである。

筆者は右演説文の紹介を書き了つた後、殆ど端なくもリリーの遺徳を新にした。明治末から大正昭和へのけての日本社会事業同業拓則に明府井上及一の信任を得て東京府社会事業協会幹事として大きな業績を挙げた同業家氏は一代を社会事業に捧げた熱誠眞摯な社会事業家であつたが、昭和初期の社会事業現況則に新業の前途に思ひを費して裏面目的を精神的苦悶をし、終に殉職して仕舞つた。氏が急死された少く前に自分に対して如何にも眞摯な面研ちて言つた。あなたには社会事業の理想もやり行政にも関係して今研究に從事してゐるが、自分には社会事業が解らなくなつてしまつたから研究家の立場から社会事業はこつぱふふのたゞ教へて貰ひ度い。大きなビルディングの中で安心してゐられるのは建築技術を信賴するからであるが、社会事業といふ社会的建築物の目的は格好と將來はどうなるかといふ切實な

質問であつた。

その時自分には心算をなしたかと思はれて然るとしてゐるが、此処に紹介したリリーの演説は正しく固くおやうな演説を社会事業家に合理的思想背景を与へ、社会事業家としての益回を感し、志意を鼓舞すると思ふ。

第二 社会事業の技術的訓練

次にリリーの演説の著者リリーの第二の文章である。「社会事業の共同的訓練」 *Technical Training for Social work* の一文を紹介する。これは組合社会事業学校が一九〇四年に教育情勢下で学校といふ名称を同校して約十年後の一九一三年の同講を演じてゐたのである。が、一九一三年の同校の第一著書に転録してあることからは見ると、その内容である社会事業の技術的訓練は今から十年前の同書出版当時も大体衰りなく必要の修正を加へたのであらう。

人間の目的はよく理解しつちには見えぬ見だるべきであつて、理論で決まるべきではない。また目的を達するに力技術も理解しつちて解らぬ。これが社会学の教へるべきところである。斯やうに技術は理解しつちて解らぬから技術はとんちんかんであるか、或は遠へるに解らぬ技術の理解は具体的に述べる他はない。

この演説の紹介についで、理論の便宜を以て、その題目を附けた。

「訓練された社会事業家」とは誰の爲へ、何を意味するかの、また、人々の生活の成長したか、どんな新觀念の教初は必要として、それが如何の方向へ行つて、同大しな、限り長く研究され、応用されるに、これら輪郭がはつきりし、明確になる。訓練された社会事業家が新觀念として現はれたのは、五十年前のことである。それと當て、當然たる新觀念であり、だが、既に抽象的性質を脱却し、人々に受けて貰つては、明確な意味を有つて、いつた。と、技術的に訓練された社会事業家が現われた事、矢張り、定見して、社会事業の技術的訓練の飛進を促して行く。

訓練された社会事業家の資質について、若し、以て、訓練された社会事業家の発生又は別として、被が、教育の社会事業家と、ちがひ、つて、事業生活と方法の上の若干変化した点を発見し、被が、生れた過程と、価値を若干、理解すること、困難ではない。それと、過去の教育、育見不良、少年保護等の社会事業家が、古臭い方法で、突然と、結果を求め、徒勞に終つた苦心の建直してある。それと、これ、如何の苦心して、何の成果も、得られなかつた。このへ、社会事業の技術的訓練の教訓に、及ぼした、事業成功の標準を、発見した、ことである。その標準は、未来に對して、認めらる、可能性を、先に、照らされて、過去の努力が、不満足となつた、ことであつて、このへ、が、訓練された社会事業家の発生原因の一つである。即ち、訓練された社会事業家の発生は、社会的な、約言すれば、古い方法によつた過去の社会事業家の苦心の再建、経験、から、生れた事

業標準 未来の可能性の発見によつて、過去の不足に對する、不満足である。

より、大きな必要は、科学の光に、併し、社会事業の専門化は、結果に對する、不満足といふこと以上の、或るものに、基づくものであつて、人智の飛進により、科学の光が、訓練された専門社会事業家の発生により、大きな必要であつた。現在は、初期の世代、人々が、爲へ、なかつた程の事業の成功が、吾々に、取つて、可能であつて、それは、科学が、極めて、多くの活動の道を、吾々に、開いた、爲である。その科学は、以前、吾々が、慈善、博愛事業の時代に、様々な、教育、保護の道を、歩いた、爲に、行きつ、戻りつ、し、度々、ヒスラリ、ツクに、なり、到底、越え、難い、土の、やうに、感じ、た、過去の、障礙を、種々に、昇、つて、受ける。これが、訓練された社会事業家の発生の本

即ち、技術を、合理化した社会事業家の生れた他の理由は、社会事業家の仕事は、科学によつて、人類が、新な、位、よ、い、世界を、もつ、可能性が、現はれ、初めた、こと、社会事業の爲すべし、仕事は、非常、に、多い、こと、にある。

近代生活の複雑化——訓練された社会事業家の発生に、重要な原因を、もつ、他の、近代的な、事實がある。それは、近代生活の複雑性の事實である。人口が増大し、人々が、新な、要求を見出し、また、人同、の、爲に、科学が、新な、要求を見出し、それ等の、要求に、応ずる、新な、道が、発見される、時に、人同、生活は、益々、複雑になり、而して、一面では、人同、の、同様、の、眞は、先に、不明瞭になり、協会が、崩壊、し、均衡を、保つ、ことが、困難になる。振取、食料、不法の、悲慘が、如何に、多い、か、際

限が判らな。また、その程度、原因、状況、産業、政治、社会生活の畢竟から後進への変化に帰せられる。

斯やうに後進した近代生活のうちに社会事業の進歩を見出すには社会事業技術を科学的に訓練し、その結果を以て社会事業が進展の素になつた。

訓練された社会事業家が誕生した理由以上は学問が社会事業がそれを見てあるかどうか免れぬその当初は訓練された社会事業家が未だ一ツの觀念に過ぎなかつた。けれども社会事業が過去数年間に實現した技術的意義を考へれば、今日では訓練された社会事業家は社会事業の進歩を来す上に活潑、有能な要因となつた。

社会事業学校を通じて考へた社会事業の雰囲気の問題——それならば如何なる教育と訓練によつて社会事業家が養成されるか。社会事業学校が聰明な人々に与へるものが教課過程を経て彼を一人の訓練された社会事業家とするか。この疑問に答へる為には吾々は学校を通じて彼が入るであらうと、この社会事業の雰囲気と共に彼がそこで学習上発見した点から訓練を受けるべき問題を考へ、その問題を解せ、明瞭に理解せねばならぬ。その目的は社会事業家の雰囲気と問題の如何なるものかは以下に叙述で解せよう。

社会福利に献身する人々の思想の特質——現代の社会事業家が思想と実践の上で社会

福利を最上とするのと考へる思想上の基礎。思想、哲学と物事を理解し過去の慈善、博愛主義に比べて非常に変化した。その変化の特質が重要である。社会的責任が抽象物でない以上、それは社会を救済する個人個人の有らざりて懸つてゐる。社会的責任の自覚は他人への福利に対して自己の行為、習慣、道徳の結果への一定の決心を人々に与へる。多くの人はこれを義務とした時にその責任を果した。何かを急ぐと互りに心配する。大多数の人は同じ熱意を感じ、その時に又同社会の新しい理想、新しい社会觀念が計画に結晶した。又同福利の目的、新しい法律が提案され、新しい運動が完成し、新しい委員会が結成され、或は動機が古い施設へ呼吸をこらした。即ち社会事業家の思想の特質は具体的で社会的責任感と計画化である。

今日の熱情を計画、熱心とせよことは健全な発展を為しつゝある。その結果が社会的責任に鋭敏な目撃者の共同社会を實現する。自體れた共同社会は社会進歩の保障である。理想、熱情及觀念は計画に結晶する途は、その効果が少ない。熱心、仲間、目的が実を結ばないやうに目的のない熱心は危険である。計画は事業成就に列る段階を示すことが必要である。その具体化は社会事業、先覚者が考へたもの、具体化である。これが社会進歩の歴史であつた。吾々は今日線に沿つて歴史を作りつゝある。吾々は列る途に社会的再調整の示唆を窺見する。それらを示唆は吾々が人間の悲愴に接觸することによつて生じ、寒處から生じ、時には失望から生ずる。吾々は新しい経験を貧困な家族に試み、また政治運動に

試みつつ、ある社会福祉の熱情と理想を計画の結果せよば効果のないと共に之れは結果もこれ
は社会的責任の自覚が共同社会を實現する。

社会的熱情が近歩段階を基礎とする。併しそこに一ツの危険がある。吾々社会事業
家の自由には凡そ大きな社会的熱情が吾々を屏々迷はせられた事は非常な幸である。熱
心は強力な動力であり、同じく吾々を導きつつある。吾々を充分の方向を歩へる。
併しそこに危険の存することと社会事業学校を完成し且つこれに対応することとを努めてお
る。その危険といふのは熱情の進歩の範囲を越え、段階を越えようことである。進歩は行
動の結果として訓練された社会事業家を彼が突進の問題の他の状態へ導いて行く。
計画実施の力は技術である。前に述べた如くに社会的理想は思考の新習慣から生じ
て計画の結果とする。

計画が自動的に効果に現れはしない。計画を實施する力は訓練された社会事業家の資
質の重要な部分たる技術である。その技術は社会的理想の進化を鼓吹する。「單調な」「骨折
仕事」である。社会的理想の宣言が集團に向ふに對して技術は個人に及ぶ。觀念から
計画に、計画から技術に到る如きは、理想から決り切つた手続へ、誇大な言辭から「軍
調」へ、熱心から獻心へ、苦心を味はねばならない。技術は社会正義への各々の進行
を成就するものに不可欠な要素であつて、之で社会的計画は結局その技術の性質によつ
て立つが測れるが可い。

余は今社会事業の成果を得る一徹的の手続即ち社会事業の方法。一ツの計画で取説した
段階が成就されるやうな過程について、一徹的知識を叙述する考へはない。また余は社会
事業の手続を尖つたもの、遠慮なきものと言はない。

余がその手続に關して前に「骨折仕事」「單調」等と言つたのは理想と觀念だけに解ふ
人けをうけ、骨折仕事「單調」を経験せしむれば事業の手続が明白にならぬからであ
る。技術は理想と社会事業の他の側面との眞の關係に社会事業を指導する活発にして人々
に訴へる強い力をもつてある。
と社会事業の技術の性質と重要性的に説き及ぶ。

(一) 技術と技術的訓練の過程

社会事業の技術は、何れもその中で技術的訓練は、どうして行はれ得るかを一層明白にせね
ばならない。技術的訓練は社会問題を取扱ひ、社会的理想の結果を歩む仕事に於て確實
な標準を得ることを前提とする。

この等々の標準は独り経験によつて歩へられる。教課のカミヤ師長の努力に對する指導として
明白にすることが出来る。約言すれば技術は経験の教養と研究によつて仕事の結果の指導
としての標準を得るべきである。このことを先に述べた。
更にそれら、技術的標準は得られる過程を之と経験以上、指導し、研究したかに置く。

結果と悪い結果を区別し、さうして何れの方法、何れを進行目標、何れを資源が其処此処で成功し又大體に得くか、判つた結果が標準である。最初の社会事業家が一つの理想に燃えて彼の仕事の或る結果がこれを再び仕事にする価値があつたこと、他の結果は永久に避けねばならぬやうな悪いものであつたこと、他の結果は先か改正を見込めあつたこと、を決定し得た時は、さうして彼が更に前進して何れの方法が或る結果を良くし、何れの方法が他の結果を悪くしたか、又何れの方法が他の結果をより良くするであらうかを発見した時は、技術への第一歩が始まつたのである。將來の指導の爲に経験の記録の形に形刻ハ、編纂が承られた。これが技術の立つ空間の基礎である。

斯うして社会事業の立場が健全であれば、技術は社会事業家の地味を為さうとする場合にとどむる必要のあるものである。少年の觀察に、家族の再生に、児童保護に、経済部門の管理に、立法運動の組織化に、又住宅計画の遂行に何れも技術がある。それ等の里の社会事業は何れも熱心が計画の結晶した或る社会的觀念に基づいてゐる。それ等の事業は何れもその熱心からそれを技術が成就したその成功に買つてゐる。またそれ等は技術のある外、爲にそれの計画、多くを實現し得た経験にも買つてゐる。

社会事業の技術、一例として余が前に引出した説明の中で、感嘆の少くは一つを取つて、略く財政部門の管理を考へて見よう。

多くの人々に取つて社会事業へ参入することとは他の行為と同様に純粹な奉仕の觀念を背

後に有つた一つの社会的責任であることと疑はれない。奇附者又は役人が彼を考へて或る近代的社会施設の子供の資金を供給することに対して、如何にしてその人々の熱心を広く興へ入れ得るか、余はそれを語る用意はない、が吾々は社会事業に資金を供給するに對してその成功と失敗の差は主として技術上の事柄であることを知つてゐる。言ひ換へれば資金供給に對して新へる方法、時期、新への形式、印刷物、郵便表の型、契約が凡て結果に影響する。

資金について以上のこと、が誤解であらば、其に社会事業家の関心事であり、彼の技術の範圍でよる公の或る保護生活のより根本的の利益關係を扱ふ時の社会事業の他の形式については同一のことが原則的に真理である。物を為すに良い方法と悪い方法があり、仕事の仕方に有効なものと無効なものがある。要するに技術的訓練は経験が有効なことを実証した目的達成の方法について訓練である。

技術の危険性——吾々は前に進歩を速く越す熱心の危険を語つた。今また進歩は多くは技術上の事柄であることを告げた。しかし余は、一度技術の名義について語りねばならない。技術はただそれ自身で正當とされることとは異なる。技術は理想によつて環境の合理的目的によつて成り立つる。それによつて危険の源となる。その上技術が型式化して社会事業の熱心を完全に喪失するに熱心を鈍らせる危険がある。社会事業技術の訓練問題は、思考上社会的理想の實現の圧力と技術の機械的傾向の間の均衡を保つ訓練が最も重要である。

と思ふ。学校を他にするを学生に示すことを努力す。

三、学校の技術的訓練

結論として学校が行ふべきある技術的訓練の經過を語ることから考へらるべきであらう。これに先だつて我が邦に述べたこと、要約即ち技術的訓練の仕事に余がどう考へて居るかを記して置こう。余の見るところでは社会事業の(学校)的訓練は(1)社会の社会的需要 (2)社会福利の計画 (3)二ツ互如何にして成就するべきを知り (4)兩者の關係を理解する熟練した事業家を指導することである。

訓練された社会事業家——社会事業家は訓練の所産であつて第一に彼らに於ける活動の背後に社会福利の理想と社会的進歩に關する知識の蘊蓄があるであらう。彼は社会事業家の経験が最も最上のもに精通したであらう。その為には訓練時に於て現場の専門家と学校の社会事業家の経験及び資力について最上の益蓄を有つた教師の指導を受け、組織された社会事業が實際問題の解決を企てつゝある現場で働く機会を有つたであらう。最後に彼は理想を最終的から故に常規的の仕事に機械化の仕事を機械化の故に理想と常規的の仕事との均衡を齎すであらう。

併しこの訓練を適当に与へべき一つの最良的を成効の方法は発見されなかつたが、今後社会事業が活動の場とした分野を越えざる限り、変化が行はれることは疑ひない。

学校の技術的進歩の両方面——学校の技術的訓練の二つの方面が可なりよく建設され

た。一つの技術的課程は講義の説明としてではなく、實地に解決する為に實際経験の同題を学校へ運来することである。それバウリス・シスラムであり、医学校と法律学校から取り入れられたものであつて、それの教室内討論には講義で得られない興味と便宜がある。又カーンス・シスラムは教室で出来るもの他の何れも教課よりも学生を將來の仕事の事實へより緊密に引きこつた。

学校の技術的課程の他の方面は現場仕事であつて、それについて各学生は一週十二時間の仕事を持つ。これは一歩は慈善組織協会の仕事所で行はれ、一部は学校と協力する他の校園で行はれる。現在の約十五の校カ校園が学生の現場仕事を指導してをり、その外必要の場合に学生指導をする同意の企業もこの校園が多数ある。この能力が最も然に立上つたし、この關係が認識と評價に値する。

現場仕事とのこの關係は次のやうな一つの最終的考察を示唆する。学校は吾々は然しと技術を発展させつゝある以上には教育的経験を待つてはあらいことを認める。たゞ吾々は社会事業の計画をそれが並るべき方法で進め得る訓練された社会事業家を啓蒙指導しやうと努めてゐる。言ひ換へれば吾々は吾々の訓練標準への指針として、吾々の教育の理想、社会理論及び社会事業の問題なるものは組織化された校園の常規的の仕事の中に現はれつゝある社会事業の要求と比較して甚だしく安んずることを認めてゐる。だから吾々は学校を絶えず社会事業の火線に接触させるやうに慎重に計画し、吾々が想

化された事業家から学ばうに、また如何にして有初を適応を為すかを知り得るやうに組織化された事業家の要求に学校の奉仕を迅速に適合させることを希望する。これは吾々が觀念の発展と標準発見の爲の経験の探求とが吾々の職分の一つの重要部分であると考へることを意味するものである。

石の叙詞はよつてアメリカの社会事業の技術とそれの科学的発達と沿革が具体的によく理解せらると思ふ。

以上でアメリカの科学的専門社会事業の成立についてのリーのニツの演説文を紹介した。これ等の文献はアメリカの専門社会事業の成立期のものであるから専門社会事業の建設過程に於ける社会事業の思想及び経験が具体的に叙述されてあつて、その後の人々の論文や著述が漸次理論的、抽象的に作つて行くのに比較して大味の深いものがある。

リーの著書はニツの総論的論文に次で各論的に「家族と個人に対する社会事業」「社会的処置の研究」「専門社会事業の将来」「社会事業家・聖母と開拓者について」「ソシシヤル・ゲース・ワーク」等が述べられてゐる。

— 完 —

アメリカ社会事業資料（既刊のもの）

第一輯　　アメリカ社会事業学校

第二輯　　アメリカの児童福祉司殿

第三輯　　アメリカ社会事業の成立

（以下録刊予定）



1011
140

終